

【選択】道德教育の現状と課題

講習の目標

わが国の道德教育をめぐる現状と課題について把握し、学校の教育活動全体を通じて行う道德教育とその要である道德科（小・中学校）について、教師の理解と意欲を向上させることを目指します。

科目区分	選択	受講定員	40 人
履修認定対象職種	教諭、養護教諭	主な受講対象	小・中・高教諭、養護教諭、栄養教諭
受講料	6,000 円	履修認定時間数	6 時間
開講日	8 月 4 日（土）		
開講場所	校舎あすなる 2508 室		
担当講師名	江島 顕一		
時間割	8 月 4 日（土） 8:20～8:50 受付 9:00～10:30 道德教育の現状 江島 顕一 10:45～12:15 道德科の目標と内容 江島 顕一 13:30～15:00 道德科の指導と展開 江島 顕一 15:15～16:45 道德教育の課題 江島 顕一 <修了認定試験を含む> 16:50～17:00 事後評価アンケートの記入		
試験方法	筆記試験（講義の終りに修了認定試験を実施する）		
評価基準	試験の判定により可否を決定する。100 点満点で評価、60 点以上を合格とする。		
認定番号	平 30-30136-506853 号		

各講義の内容

（1）道德教育の現状

担当：江島顕一（90 分）

本講義では、わが国の学校における道德教育の歩みを確認する。わが国の学校における道德教育は、戦前は「修身科」が、戦後は「道德の時間」が主としてその役割を担ってきた。こうしたこれまでの道德教育の変遷を振り返りながら、新たに成立した「特別の教科 道德」の歴史的意味について考察する。

（2）道德科の目標と内容

担当：江島顕一（90 分）

本講義では、「学習指導要領解説 特別の教科 道德編」を踏まえ、道德科の目標と内容、指導上の配慮事項や留意点などについて、「特設道德」と対比する形で考察する。その後はグループに分かれ、質問事項への記入に基づき、受講者各自の学校の道德教育の現状と課題について話し合い、発表し、情報の共有を図る。

（3）道德科の指導と展開

担当：江島顕一（90 分）

本講義では、「学習指導要領解説 特別の教科 道德編」を踏まえ、「考え、議論する道德」の

実現に向けた道徳科の指導と展開について、実践事例を取り上げながら検討する。その後はグループに分かれ、質問事項への記入に基づき、受講者各自の学校の道徳科の現状と課題について話し合い、発表し、情報の共有を図る。

（４）道徳教育の課題

担当：江島顕一（90分）

本講義では、「学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」を踏まえ、今後の道徳教育の課題として、評価の考え方や学校の指導体制のあり方、また道徳科を担う教師の捉え方などについて考察する。

講義の後半に試験を実施する。講義にて取り扱った事柄についての基本的な理解と、受講者の今後の道徳科に対する基本的な姿勢を確認する記述式の試験である。なお、評価は、グループでの話し合いへの参加、試験等をもって総合的に判断する。

上記の内容は、受講者の状況に応じて、変更の可能性はある。

講師のプロフィール

江島顕一	麗澤大学 経済学部 准教授	専門分野：教育学、日本教育史
------	---------------	----------------